

## 6 . 健康増進課

|   |     |   |   |   |       |       |         |       |    |       |       |    |
|---|-----|---|---|---|-------|-------|---------|-------|----|-------|-------|----|
| 1 | エ   | イ | ズ | 対 | 策     | ..... | 38      |       |    |       |       |    |
| 2 | 健   | 康 | 食 | 育 | 推     | 進     | .....39 |       |    |       |       |    |
| 3 | 歯   | 科 | 保 | 健 | ..... | 41    |         |       |    |       |       |    |
| 4 | こ   | こ | ろ | の | 健     | 康     | づ       | く     | り  | ..... | 42    |    |
| 5 | 母   | 子 | 保 | 健 | ..... | 44    |         |       |    |       |       |    |
|   | (1) | 母 | 子 | 保 | 健     | 対     | 策       | ..... | 44 |       |       |    |
|   | (2) | 母 | 子 | 医 | 療     | 対     | 策       | ..... | 44 |       |       |    |
|   | (3) | 虐 | 待 | 予 | 防     | ケ     | ア       | 事     | 業  | ..... | 46    |    |
|   | (4) | 思 | 春 | 期 | 健     | 康     | 支       | 援     | 事  | 業     | ..... | 47 |

## 1. エイズ対策

HIV感染者は年々増加し、20歳から40歳の男性の感染が課題になっています。HIV検査件数の伸びが数を押し上げている一方、感染そのもののすそ野が広がっているといわれています。HIV感染の主たる感染経路は性的接触です。

そこで、予防のための正しい知識の普及を図るためエイズ予防啓発や予防のための専門研修、街頭キャンペーン等を実施しました。また、二次感染防止を目的に電話相談、面接相談、検査（夜間検査含む）も実施しました。

### (1) 世界エイズデーキャンペーン

平成19年11月30日 近鉄四日市駅構内 ティッシュ配布 1500組  
県立総合医療センター エイズに関する展示、パンフレット、ポケットティッシュ配付

### (2) エイズ地域特別対策事業

#### エイズ予防教育

エイズについての正しい知識の普及・啓発・予防の第一線を担っている、管内養護教諭等を対象に、研修会を実施しました。

講師 東京医療保健大学 渡會 睦子 先生

日時 平成19年7月3日（火）

内容 講演 エイズ・性感染症予防研修会「こどもの心と体を育む」

対象 管内および周辺の小、中、高養護教諭 管内保健師等 77名

### (3) エイズ相談・検査

|    | 相談件数 | 検査件数 |
|----|------|------|
| 総数 | 450件 | 408件 |
| 男  | 254件 | 228件 |
| 女  | 196件 | 180件 |

再掲（夜間相談・検査件数） 114件

## 2 . 健康食育推進

### (1)朝食欠食幼児ゼロ推進事業

子ども達が心も体も健康で豊かであるためには、食事はとても重要なものです。そこで幼児期の朝食欠食を防ぎ健康的な食生活の実践を推進するために、管内の保育園と幼稚園児とその保護者、職員等に対して食育指導媒体等の活用を通じて、朝食の大切さについての健康教育支援を行いました。また、健康的な食環境づくりを推進するために、関係者に対して研修会を開催しました。

#### 健康教育支援

| 実施回数 | 場所      | 参加人員 | 内 容                                  |
|------|---------|------|--------------------------------------|
| 6回   | 保育園・幼稚園 | 245名 | 講話 「朝ごはんを食べよう」<br>調理実習「朝ごはん10分クッキング」 |

#### 研修会

| 実施日        | 実施場所  | 参加者数 | 内 容  |
|------------|-------|------|--|
| 平成20年1月29日 | 四日市庁舎 | 62名  | 講演「みえの食文化と食育の推進～伝えよう、育もう、豊かなみえの食文化～」<br>講師 三重大学名誉教授 成田美代氏<br>調理実習「三泗地域の食文化を伝えるために～保育園給食にアレンジしてみよう～」<br>講師 管理栄養士 西口 孝子氏 |

### (2)食事バランスガイド地域協働啓発

エネルギーの過剰摂取や栄養の偏りを防ぐために、関係団体に対して食事バランスガイドの理解や活用を図る研修会を開催するとともに事業者や職能団体等、関係機関との協働により、地域での食事バランスガイドの普及・啓発を行いました。

#### 食事バランスガイド研修会

| 実施日    | 場所      | 参加人員 | 対象者              |
|--------|---------|------|------------------|
| 5月10日  | 四日市庁舎   | 170名 | 四日市食生活改善推進連絡協議会員 |
| 5月26日  | 四日市総合会館 | 60名  | 三重県友の会四日市支部会員    |
| 7月2日   | 四日市庁舎   | 100名 | 生活衛生協会員          |
| 2月7・8日 | 四日市庁舎   | 69名  | 四日市地区調理師会員       |

#### 協働普及啓発

| 実施日   | 協働団体          | 啓発人員 | 内 容          |
|-------|---------------|------|--------------|
| 6月10日 | スーパー          | 400名 | 食事バランスガイドの啓発 |
| 6月22日 | 農政事務所、地域活動栄養士 | 35名  | 食育セミナー       |

(3) 地区組織の育成・支援

地域での食生活改善活動は食環境整備を推進するうえで重要な位置づけであり、食生活改善地区組織の育成や会員の資質向上を図るなどの支援を行いました。

食生活改善推進員リーダー育成

| 実施月日 | 対象組織数 | 参加人員 |
|------|-------|------|
| 3月7日 | 4組織   | 40名  |

食生活改善地区組織支援研修

| 実施月日  | 対象者     | 参加人員 |
|-------|---------|------|
| 11月9日 | 1～2年目会員 | 26名  |
| 1月11日 | 地区役員    | 38名  |

(4) 管内市町栄養改善支援

各市町の栄養改善事業が円滑に推進されるように、市町栄養士を対象として業務検討や情報交換等を行うとともに、技術支援を合わせて行いました。

管内市町栄養士連絡会

| 実施日   | 場所    | 参加人員 | 内 容              |
|-------|-------|------|------------------|
| 5月11日 | 四日市庁舎 | 4名   | 授乳・離乳の支援ガイドについて  |
| 8月16日 | 四日市庁舎 | 5名   | 特定健診・保健指導について    |
| 3月18日 | 四日市庁舎 | 3名   | 情報交換、次年度の計画等について |

技術支援

市町行政栄養士業務にかかる資料作成支援  
四日市市保健所設置にかかる業務支援  
栄養教室にかかる人材支援

(5) 地域活動栄養士研修

市町の栄養改善・健康づくりを市町栄養士とともに担っている地域活動栄養士を対象に、資質の向上と連携を図るために研修支援を行いました。

| 実施日   | 実施場所  | 参加者数 | 内 容                |
|-------|-------|------|--------------------|
| 5月18日 | 四日市庁舎 | 12名  | 特定健診における栄養士の役割について |
| 5月11日 | 四日市庁舎 | 7名   | 離乳・授乳の支援ガイドについて    |

### (6) 給食施設指導

健康増進法、健康増進法施行細則に基づき、特定多数の人に対して継続的に食事を供給する施設に対して栄養管理指導を行いました。

#### 給食施設巡回指導

| 施設区分     | 特定給食施設指導数 | 一般給食施設指導数 |
|----------|-----------|-----------|
| 学 校      | 0         | 0         |
| 病院老人保健施設 | 11        | 5         |
| 児童福祉施設   | 28        | 14        |
| 社会福祉施設   | 1         | 8         |
| 事業所      | 16        | 3         |

#### 給食施設従事者研修会

| 実施日             | 実施場所  | 参加者数 | 内 容  |
|-----------------|-------|------|--|
| 平成19年<br>10月23日 | 四日市庁舎 | 171名 | 講演「災害時における給食施設での対応について～中越大震災の体験に学ぶ～」<br>講師 新潟県上越保健所地域保健課<br>課長代理 杉田 弘子氏<br>グループワーク「災害時の対応について」<br>行政説明「健康増進法による給食施設指導について」<br>講師 四日市保健福祉事務 |

### (7) 栄養表示基準等に関する相談

健康増進法第26条、第31条、第32条に基づき、食品の表示等に関する相談を実施しました。

(延べ相談件数)

| 特別用途食品 | 栄養表示基準 | 栄養機能食品 |
|--------|--------|--------|
| 1      | 18     | 2      |

## 3. 歯 科 保 健

歯科疾患予防に対する知識の普及と啓発を行いました。

ポスター掲示 4回

## 4. こころの健康づくり

こころの健康づくり強化のために、地域の家族力・介護力・育児力の回復と向上及びこころの危機ネットワークの構築やまちづくりの視点から、地域の身近なところに傾聴して相談に対応できる人材育成やこころの悩み・ストレス等への早期対応に努め、ストレスの解消と自殺者の減少に取り組みました。

### 【事業内容および結果】

(1) 精神保健福祉研修会 計 671名 参加

(目的)

地域精神保健福祉研修 リスナー指導者研修 職域メンタルヘルスサポーター養成研修の、3部門を1つのパッケージとし、地域における各分野での関係者の人材育成を図り、北勢地域の精神保健福祉の推進を図る。

(内容)

精神保健福祉研修会プログラム [再掲]

会場： 県四日市庁舎 6階 大会議室

|   | 内 容   | 講 師                                       | 日 時                      | 出 席 者 数           |
|---|---|---|--------------------------|-------------------|
| 1 | ・講義<br>基礎知識の理解<br>(ストレス・うつ病・職場のメンタルヘルス)<br>専門知識の理解(PTSD・自殺予防)<br>・メンタルヘルス技法の知識と体験 | こころの健康センター<br>所長 崎山 忍 氏<br><br>保健福祉事務所保健師 | 5月23日<br>13:00~<br>17:00 | 142名              |
| 2 | ・講義<br>専門知識の理解<br>(睡眠障害・高齢者のメンタルヘルス)  | こころの健康センター<br>医師 臼井 卓士 氏                  | 6月13日<br>13:30~<br>16:30 | 73名               |
| 3 | ・講義<br>疾患の理解と対応<br>(統合失調症・パーソナリティ障害等)   | 総合心療センター<br>ひなが<br>医師 浅井 慶介 氏             | 6月25日                    | 83名               |
| 4 | ・講義と演習<br>積極的傾聴の知識と体験   | 産業カウンセラー<br>前田 隆司 氏                       | 7月11日<br>10月1日<br>10月29日 | 42名<br>29名<br>16名 |
| 5 | ・講義と演習<br>メンタルヘルス技法の知識と体験<br>(交流分析等)  | 交流分析士<br>山口 節子 氏                          | 8月22日                    | 42名               |
| 6 | ・講義と演習<br>メンタルヘルス技法の知識と体験<br>(認知療法等)  | ポンティキュラス心理<br>研究所 所長<br>小林 展子 氏           | 8月13日                    | 52名               |
| 7 | 精神保健福祉総論<br>(関連法の理解)  | 障害福祉室<br>主幹 橋倉 恵津子氏<br>主事 三上 政和氏          | 5月16日                    | 55名               |
| 8 | 精神障害等ソーシャルワーク技術   | 障害福祉室<br>専門監 村木顕太郎氏<br>主事 三上 政和氏          | 10月10日                   | 28名               |
| 9 | ・講義<br>職場復帰サポート   | MDA JAPAN<br>代表<br>山口 律子 氏                | 11月19日                   | 109名              |

(2)こころの健康教育および健康づくり研修会

(目的)

市町をはじめ、関係機関、団体等々こころの健康づくりを支援し、自殺予防およびこころの健康づくり活動の推進を図る。

(内容)こころの健康教育および健康づくり研修会プログラム[再掲]

|   | 内 容   | 講 師                                       | 日 時          | 出 席 者 数  |
|---|---|---|--------------|----------|
| 1 | 四日市食生活改善推進協議会総会<br>「今からでも間に合うメタボリック<br>シンドロームの予防」<br>～メンタルヘルスの視点から～ | 保健福祉事務所保健師                                | 4月9日         | 100<br>名 |
| 2 | 四日市市リスナー養成講座<br>「エゴグラム」グループワーク<br>「ストロークと認知療法」                      | 市保健師<br>保健福祉事務所保健師                        | 6月12日        | 30名      |
| 3 | 四日市市リスナー養成講座<br>「アサーティブ」  | 市保健師<br>保健福祉事務所保健師                        | 6月19日        | 23名      |
| 4 | 三重郡第1回栄養教室<br>「健康づくり総論・肯定的ストローク」                                    | 保健福祉事務所保健師                                | 6月26日        | 32名      |
| 5 | 菰野町社協<br>子育てキーパーソン養成講座<br>「話の聴き方」                                   | 保健福祉事務所保健師                                | 12月5日        | 17名      |
| 6 | こころの健康公開講座<br>「ストレスに打ち勝つメンタルトレーニング」                                 | メンタルトレーニング<br>施設企画<br>代表 岡本 正善 氏          | 20年<br>1月28日 | 157<br>名 |
| 7 | 県社協 テーマ別技術研修会<br>講義と演習<br>「うつ傾向な人、ひきこもりがちな人へのリスニング」                 | 保健福祉事務所保健師                                | 20年2月4日      | 22名      |
| 8 | 川越町リスナー養成研修会<br>講義と演習<br>「エゴグラム」<br>「わかちあい」<br>「ストローク」              | こころの健康センター<br>保健師<br>川越町保健師<br>保健福祉事務所保健師 | 20年3月3日      | 32名      |

平成19年度の成果

平成19年度は、精神保健福祉研修会として、3部門をパッケージ化し、研修会を開催した。事業所におけるメンタルヘルスサポーター養成研修については事業所を中心に55名、リスナー指導者養成研修会では、10名の方が修了されました。

また、市町では、市町主催のリスナー養成講座、リラクゼーション教室等、市町や社会福祉協議会等の実情にあわせ独自の講座を開催し、保健福祉事務所が支援する形で、実施することができました。

平成20年度の取り組み

各市町でのこころの健康づくりの取り組みは、地域の実情にあわせ、展開されつつあります。

また、平成20年度は、桑名保健福祉事務所が北勢地域の精神保健福祉研修の中心的な役割を担う予定になっており、新たな展開が求められています。

## 5. 母子保健

### (1) 母子保健対策

#### 【未熟児訪問指導】

未熟児は身体の諸機能が未熟なため、病気にかかりやすく、死亡の危険も高く、また障害を残しやすいことから、適切な養護が必要なため、保健師による訪問指導を行いました。

| 年度別    | 区分 | 未熟児訪問指導 |     |
|--------|----|---------|-----|
|        |    | 実人員     | 延人員 |
| 平成18年度 |    | 163     | 243 |
| 平成19年度 |    | 95      | 106 |

未熟児とは身体の発達が未発達のまま出生した乳児であって、正常出生児に有する諸機能を得るに至るまでのものをいう。

#### 【療育相談実施状況】

肢体不自由児対策実施要領に基づき、身体機能に障害のある児、若しくは機能障害を来す恐れのある児を早期に発見し、早期に適切な療育の指導をするため、専門医による定期的な相談を行いました。

| 相談者数<br>( )実人員 | 検診結果         |             |
|----------------|--------------|-------------|
|                | 終了・他機関紹介     | 経過観察及び要治療   |
| 51(29)         | 28 51(廃止のため) | 23 0(廃止のため) |

### (2) 母子医療対策

#### 【育成医療(身体障害児対策)】

身体に障害があり、手術等の医療により、確実な治療効果が期待される児童に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行いました。

| 市町別<br>区分 | 計       |         | 四日市市    | 菰野町   | 朝日町  | 川越町  |
|-----------|---------|---------|---------|-------|------|------|
|           | 平成18年度  | 平成19年度  |         |       |      |      |
| 申請件数      | 180(12) | 192(11) | 161(10) | 17(0) | 5(0) | 9(1) |
| 給付件数      | 180(12) | 192(11) | 161(10) | 17(0) | 5(0) | 9(1) |

\* ( )は治療用装具給付件数。

#### 【養育医療(未熟児対策)】

出生時体重 2,000g 以下の新生児、その他入院養育を必要とする未熟児に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行いました。

| 市町別<br>区分 | 計      |        | 四日市市 | 菰野町 | 朝日町 | 川越町 |
|-----------|--------|--------|------|-----|-----|-----|
|           | 平成18年度 | 平成19年度 |      |     |     |     |
| 申請件数      | 123    | 87     | 75   | 9   | 3   | 0   |
| 給付件数      | 123    | 87     | 75   | 9   | 3   | 0   |



【小児慢性特定疾患治療研究事業】

小児慢性疾患のうち、国が指定した 11 の特定疾患については、治療が困難で長期間にわたり医療費が高額となるため、疾患の治療研究費として、指定医療機関での医療に対し給付を行いました。

| 区分 | 市町別      | 計        |          | 四日市市 | 菰野町 | 朝日町 | 川越町 |
|----|----------|----------|----------|------|-----|-----|-----|
|    |          | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 |      |     |     |     |
| 総  | 数        | 277      | 268      | 219  | 28  | 7   | 14  |
| 1  | 悪性新生物    | 54       | 50       | 45   | 3   | 2   | 0   |
| 2  | 慢性腎疾患    | 17       | 20       | 18   | 2   | 0   | 0   |
| 3  | 慢性呼吸器疾患  | 3        | 3        | 3    | 0   | 0   | 0   |
| 4  | 慢性心疾患    | 27       | 31       | 26   | 4   | 0   | 1   |
| 5  | 内分泌疾患    | 109      | 101      | 72   | 16  | 3   | 10  |
| 6  | 膠原病      | 9        | 9        | 8    | 0   | 0   | 1   |
| 7  | 糖尿病      | 14       | 11       | 10   | 1   | 0   | 0   |
| 8  | 先天性代謝異常  | 12       | 11       | 11   | 0   | 0   | 0   |
| 9  | 血友病等血液疾患 | 14       | 11       | 7    | 1   | 1   | 2   |
| 10 | 神経・筋疾患   | 5        | 7        | 6    | 0   | 1   | 0   |
| 11 | 慢性消化器疾患  | 13       | 14       | 13   | 1   | 0   | 0   |

小児慢性特定疾患児手帳

手帳の交付を希望した小児慢性特定疾患児に対して、手帳の交付を行いました。

交付件数 1 件

【三重県特定不妊治療費助成事業】

不妊治療のうち体外受精及び顕微授精を受けられたご夫婦に対し、その費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を行っています。

| 区分   | 市町別 | 計     |       | 四日市市 | 菰野町 | 朝日町 | 川越町 |
|------|-----|-------|-------|------|-----|-----|-----|
|      |     | 18 年度 | 19 年度 |      |     |     |     |
| 申請件数 |     | 128   | 249   | 203  | 18  | 9   | 19  |
| 給付件数 |     | 128   | 248   | 203  | 17  | 9   | 19  |

【受胎調節実地指導員指定事業】

助産師、保健師又は看護師において知事の認定した受胎調節の講習を終了した者に対し、受胎調節実地指導員の指定を行いました。

|      |     |
|------|-----|
| 申請件数 | 0 件 |
|------|-----|

### (3) 虐待予防ケア事業

#### 家庭訪問等による在宅支援

出生時体重が2,500kg未満、又は生活力が未熟な状態で出生しNICUから訪問依頼のあった児及びその保護者や障害児に対して訪問指導を実施しました。

児童相談所や市町等との連携の中で、虐待までも行かないが見守りが必要という家族への支援や育児不安が強いケース、母親がうつ病や神経症などの精神疾患を持つケースなどの支援が増えてきています。

| 訪問件数   | 358件 |
|--------|------|
| (内 訳)  |      |
| 低体重児   | 106件 |
| 新生児・乳児 | 33件  |
| 幼児     | 82件  |
| 妊産婦    | 105件 |
| その他    | 32件  |

#### 関係機関との調整・ネットワーク会議

##### 1) 四日市市子ども虐待防止ネットワーク会議への参加

- ・委員会(2回)
- ・推進委員会(3回)
- ・セミナー部会(8回)(子育て応援フェスタ・セミナー含)
- ・情報交換会(4回)
- ・日永地区地域子育てネット0-6会議への参加(4回)

##### 2) 乳幼児相談担当者会議(6回)

##### 3) 川越町要保護児童対策地域協議会への参加(1回)

##### 4) 朝日町要保護児童対策地域協議会への参加(1回)

##### 5) 菰野町要保護児童対策地域協議会への参加(1回)

##### 6) ケース検討会議(9回)

#### 研修会開催

核家族化・少子化・価値観の多様化等、子育ての状況が様変わりしている中、養育力不足・メンタル面での支援が必要である養育者や、社会適応が困難な養育者が増加しており、支援者の質を高めることを目的に開催した。

##### 1) 子育て支援研修会

開催日：平成19年8月17日

場 所：四日市市立労働者福祉会館

対 象：管内の子育て支援関係者(保育士・幼稚園教諭・市町保健師・相談員等)

内 容：講演「気になる子どもへのかかわりと家族への支援～虐待予防の視点を持って～」

講 師：独立行政法人 国立病院機構 榊原病院長 長尾 圭造先生

参加者：59名

2)生後4ヶ月までの全戸訪問事業に伴う研修会

開催日：平成20年3月19日

場 所：菰野町保健福祉センター けやき

対 象：在宅保健師、助産師、看護師等

内 容：「エンジンバラ産後うつ病質問票」の活用について

講 師：四日市保健福祉事務所 保健師 村上富美子

参加者：12名

(4)思春期健康支援事業

増加傾向にある若者の性感染症予防に向けて、思春期の教育を担う養護教諭や相談支援者に対して、若者の感染症の実態や行動傾向を知り活動に生かすことを目的に実施した。

・エイズ・性感染症予防研修会

開催日：平成19年7月3日

場 所：四日市市総合会館 7階 第1研修室

対 象：管内及び周辺の小・中・高養護教諭、県内保健師等

内 容：講演「こどもの心と体を育む」

講 師：東京医療保健大学 渡會 睦子先生

参加者：77名

